

広域リサイクル拠点整備協議会研究会のこれまでの研究成果

複合廃棄物リサイクル研究会

自動車、家電等「鉄、非鉄、樹脂・ゴム等の複合素材」で構成される使用済み製品のリサイクル方法及びリサイクル事業化について検討を実施し、既存の素材企業・施設を用いたリサイクルシステム、既存の物流システムを活用した広域集荷システムの優位性について研究した。その結果を受け、廃タイヤについては「ひょうごエコタウン構想」の先進的な施設として平成15年度に関西タイヤリサイクル(株)他にて「廃タイヤガス化リサイクル施設」の設置に着手することとなった。廃自動車については、同構想に基づいて「廃車スクラップ」等の高度リサイクル施設」を新日本製鐵(株)他にて設置することとなった。

廃プラスチックリサイクル研究会

容器包装リサイクル法で平成12年4月に品目追加された「その他プラスチック製容器包装」のリサイクルに対応する受け皿として、その利用について事業化検討を行った。その結果を受け、「ひょうごエコタウン構想」に基づく主要施設として(株)神戸製鋼所にて「廃プラスチック高炉還元剤化施設」の規模を拡充し、平成18年度から稼働する計画である。

廃プラスチックガス化リサイクル研究会

廃プラスチックのガス化技術（廃プラスチックを熱分解して一酸化炭素と水素の合成ガスを取り出し酢酸、メタノール等の化学原料に再商品化する技術）について事業化検討を行った。

PCB処理研究会

ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法の制定に対応し、高圧トランス・コンデンサを対象に実態調査、事業化検討を行った。

OAリサイクル研究会

主に廃パソコンについての回収、処理方法等のリサイクルの調査検討を実施し、事業化検討を行った。その結果を受け、平成14年10月からアサヒプリテック(株)が「ひょうごエコタウン構想」に基づく主要施設として「パソコン等OA機器リユース・リサイクル施設」を設置し、試験操業を開始した。平成17年度から本格操業の計画である。また、NPO法人イ・キューブと連携してリユースパソコンを使用したパソコン教室の開催等によりリサイクル啓発活動を行っている。

建設廃棄物リサイクル研究会

リサイクル率の低い建設発生木材、建設汚泥、建設発生土について調査検討を実施し、事業化検討を行った。木質系廃棄物の用途拡大のために、建設発生木材リサイクル施設として木屑の破碎チップから再生構造材事業についても事業性の検討を行った。

食品リサイクル研究会

食品リサイクル法の動きに連動し、食品廃棄物の適切なリサイクル方法について調査検討を実施し、メタン発酵、飼料化、土壌改良材化等の技術について事業化の検討を行った。コスト面の課題が明らかになった。

適正処理リサイクル研究会

最終処分される廃棄物のうち、建設系混合廃棄物、シュレッダーダスト、産廃系プラスチックを対象に調査検討を実施し、前処理と焼却・溶融および発電設備を設置した施設の事業化検討を行った。

ELVリサイクル研究会

自動車リサイクル法の動きに連動し、使用済み自動車（ELV）をシュレッダー処理せず分別処理を行うことで製鋼原料等の部材毎のリサイクルを行い、合わせて廃棄物の抑制も図る方法を調査検討し、事業化の方向性を探った。

の研究会は平成12年～平成14年に実施、その他は平成12～13年度に実施した。